



四国化成

四国化成ホールディングス株式会社

個人投資家さま向け説明会資料

証券コード：4099



1. 会社概要

2. 沿革・業績推移

3. 当社の特徴

4. 事業紹介

5. 成長戦略

社名	四国化成ホールディングス株式会社
証券コード	4099（東証プライム市場）
設立	1947年10月10日
本社	香川県丸亀市土器町東8丁目537番地1
資本金	68億6,770万円
事業内容	化学品・建材の製造・販売
従業員数	1,262名(2023年12月末現在)
関連会社	国内15社、海外2社
発行済み株式数	44,869,563株(2024年6月末現在) (単元株式：100株)



初代社長 多津 白年
(1949.4 ~ 1972.5)



第1回中間実験炉 1947年

創業

香川県丸亀市において、技術者の多津白年が化学繊維レーヨンの原料である「二硫化炭素」の画期的な製法を考案し、丸亀で地元資本を集め創業



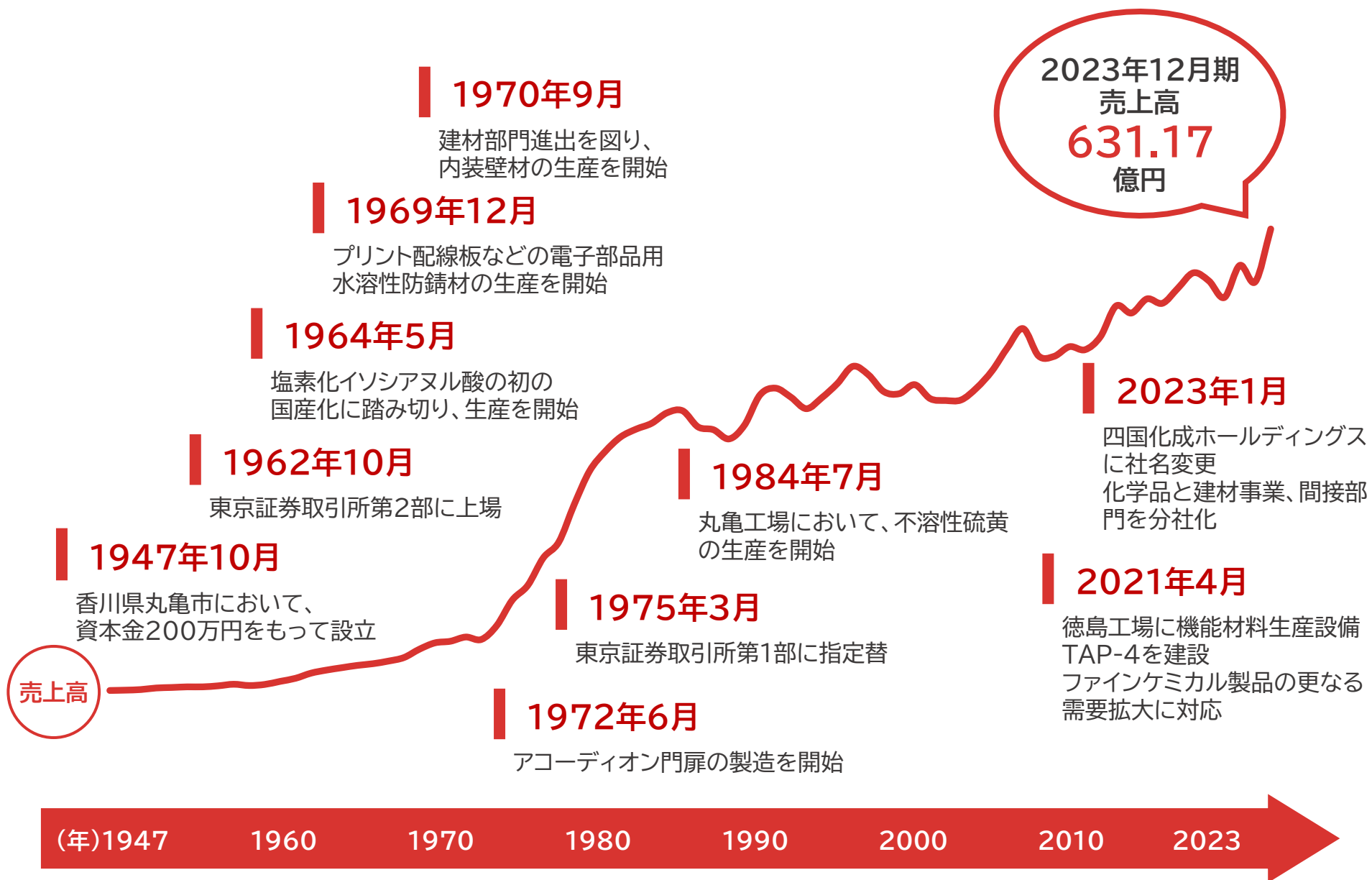
1997年(創立50周年)に
企業理念として制定

企業理念『独創力』

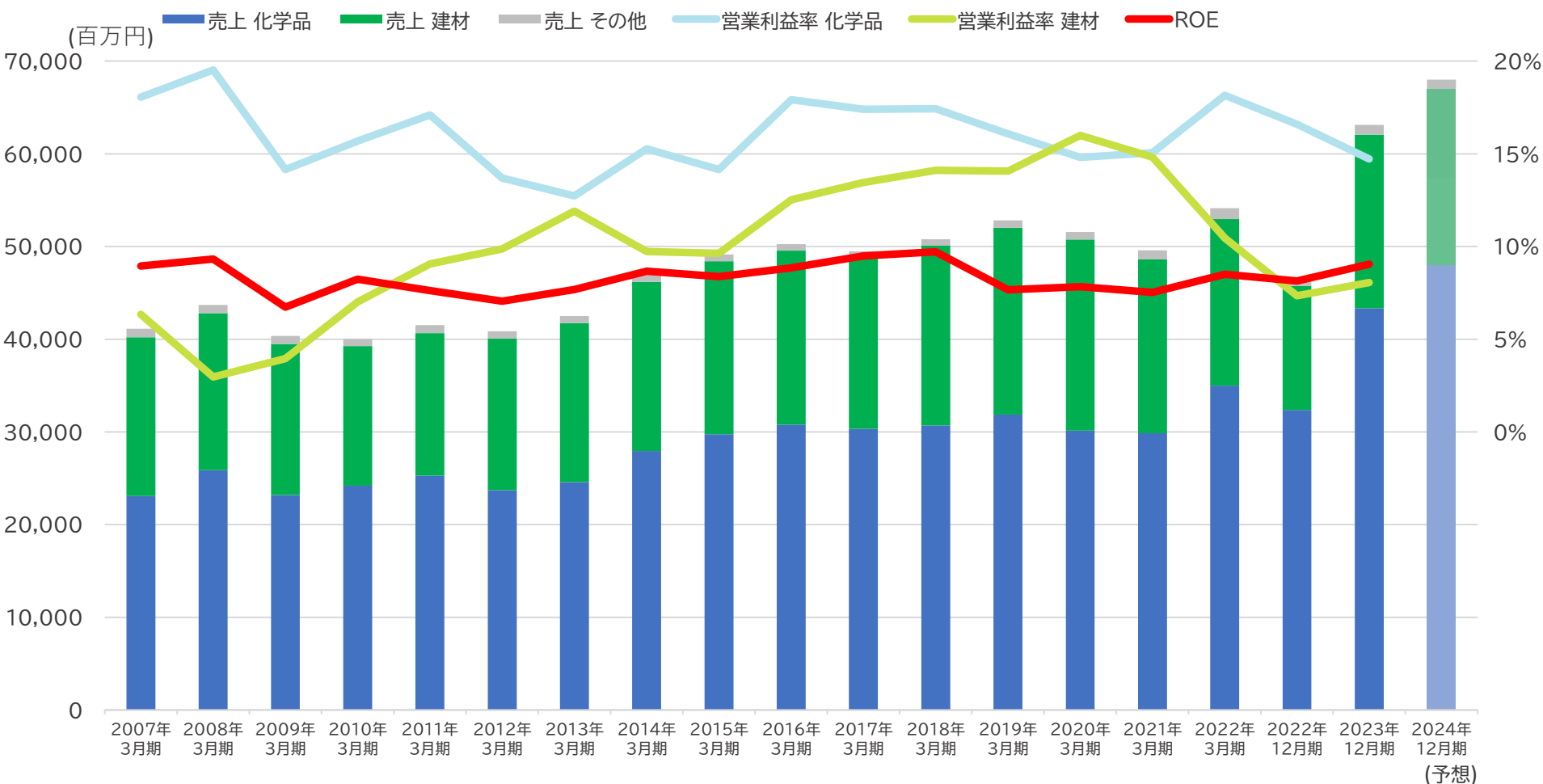
「独創力」は、未来永劫掲げていく四国化成グループの理念

二硫化炭素の革新的な製法の発明に始まり、その後も節々で独創性の発揮を成長の礎、発展の力としてきた

時代が移り、価値観が変わっても、発想と行動の独創性を会社発展の原動力とする



- 化学品、建材事業ともに、ニッチな事業領域や研究開発力に起因する高付加価値により業界平均と比較して高い営業利益率を維持
- 足元のインフレ基調(原材料高騰や労務費増)によって、直近の営業利益率は低下したが、資本の圧縮によりROEベースでは、8～9%を維持



株主還元方針

- 連結業績を基準として、「**配当性向30%・総還元性向50%**」を目指す
- 上記に加えて、今期より「**株主資本配当率(DOE)3%**」を配当額の決定指標として設定し、累進的配当を実現する

新株主配当方針

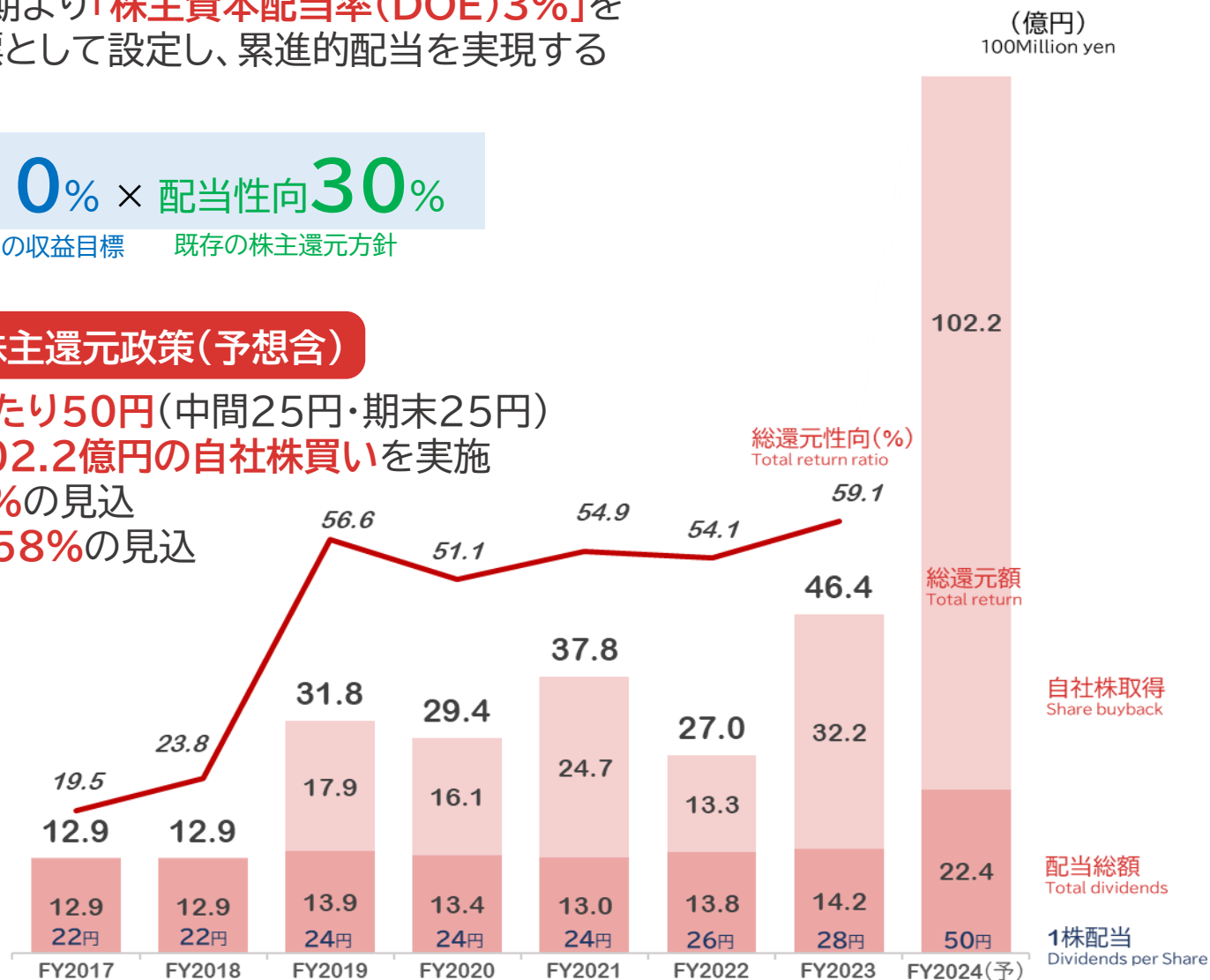
$$\text{DOE} 3\% = \text{ROE} 10\% \times \text{配当性向} 30\%$$

長期ビジョンの収益目標

既存の株主還元方針

2024年12月期の株主還元政策(予想含)

- 配当金額は**1株当たり50円**(中間25円・期末25円)
- 2024年2月に**102.2億円の自社株買い**を実施
- 配当性向は**約29%**の見込
- 総還元性向は**約158%**の見込



建材事業

187億12百万円(29.6%)



- 壁材
- 住宅エクステリア
- 景観エクステリア

国内
No1

ファインケミカル

100億29百万円(15.9%)



- 機能材料
- 電子化学材料

世界
No1

無機化成品

136億86百万円(21.7%)



- 不溶性硫黄
- 二硫化炭素
- 中性無水芒硝

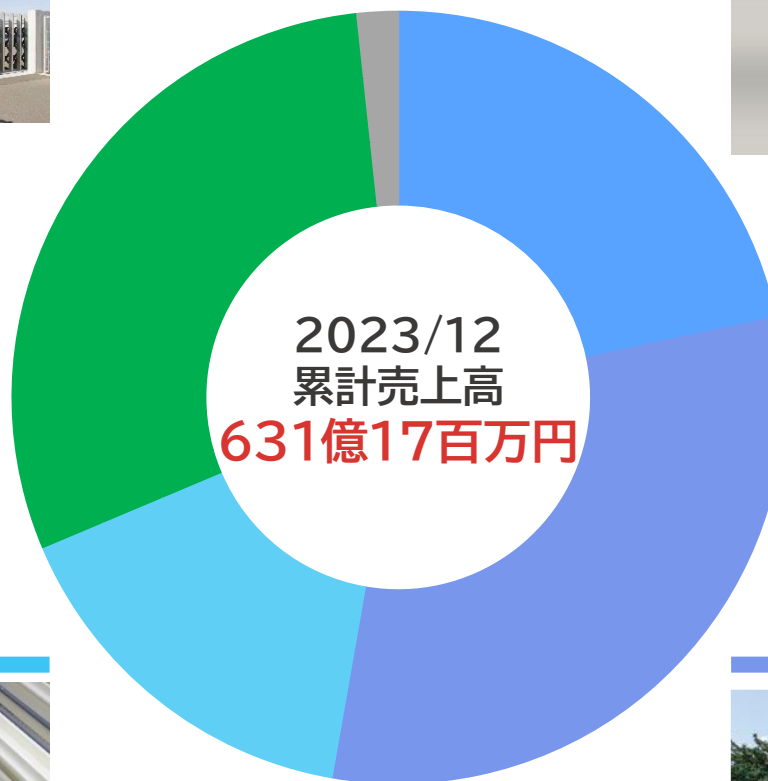
世界
No2

有機化成品

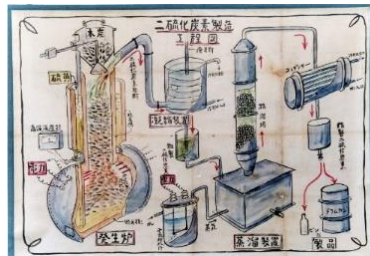
196億15百万円(31.1%)



- ネオクロール
- サニタリー製品
- ネオクロールマリーン

国内
No1

主な製品



不溶性硫黄

無機化成品の主力製品で、世界シェア2位。国内外の主要なタイヤメーカーに製品を供給

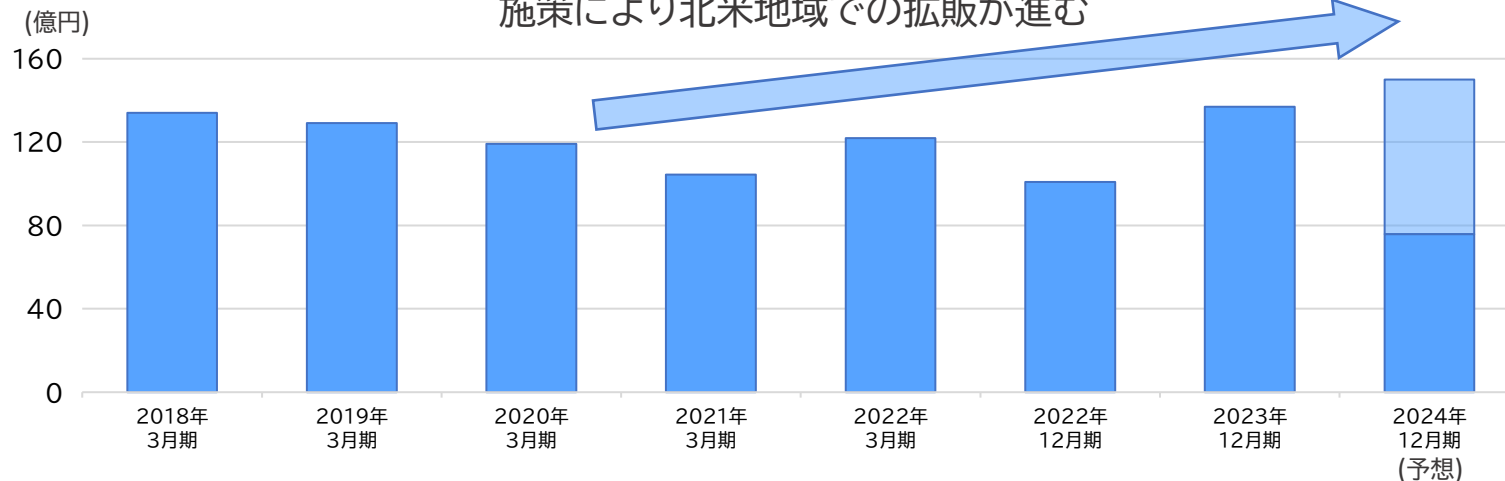
二硫化炭素

化学繊維レーヨンの原料の他、不溶性硫黄の製造に欠かせない製品でもある。当社が国内唯一の製造メーカー

中性無水芒硝

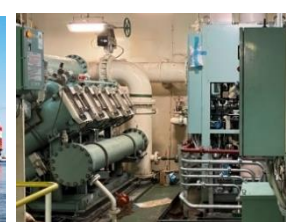
業界トップメーカーとして高い品質を保持している中性無水芒硝。合成洗剤のビルダーとして用いられる

業績推移



注) 2022年12月期は、決算期変更に伴い2022年4月から2022年12月の9カ月決算となっております。

主な製品



ネオクロール

有機化成品の主力製品で、コロナ禍での巣ごもり需要を背景に北米での家庭用プール向け販売が伸長

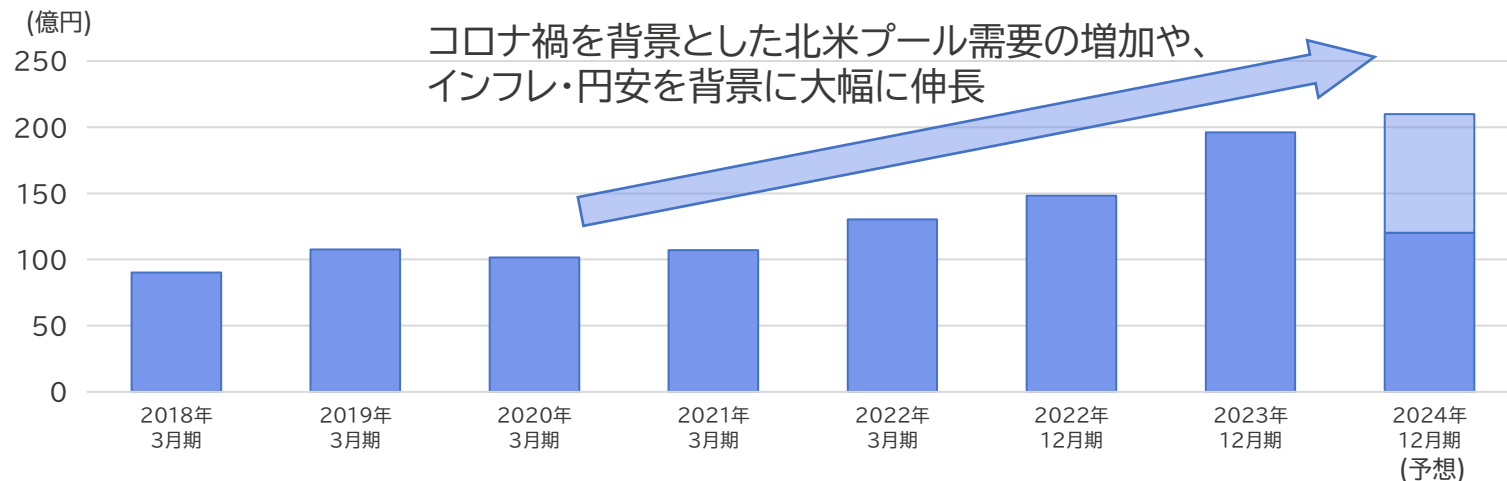
サニタリー製品

当社塩素化イソシアヌル酸の技術を活かし高付加価値分野での事業拡大に取り組む
新規BtoC製品「WASHMANIA」の開発が進行

ネオクロールマリーン

船舶のバラスト水に含まれる外来生物を駆逐し、固有の生物を保護する。
(株)クラレからバラスト水管理システム事業を譲り受け、システム販売による薬剤市場拡大にも挑戦

業績推移



注) 2022年12月期は、決算期変更に伴い2022年4月から2022年12月の9カ月決算となっております。

主な製品



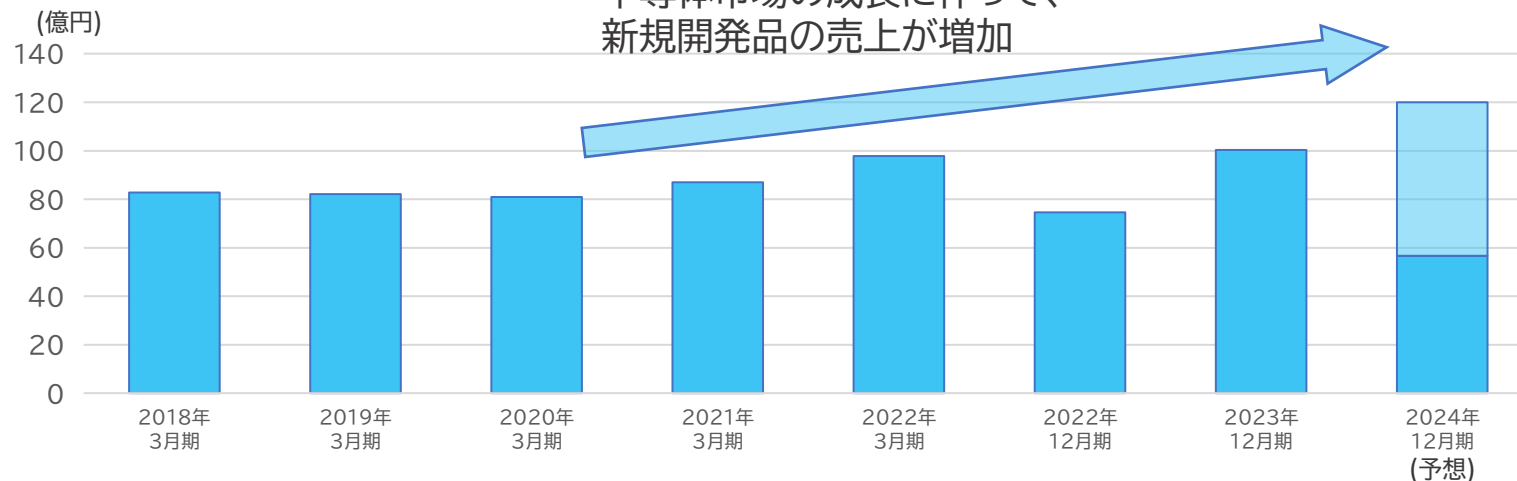
機能材料

多品種少量生産で付加価値の高い複雑な構造を持つ化学製品であり、エポキシ樹脂の硬化剤、医農薬原料などに応用される

電子化学材料

機能材料から派生した、プリント配線板の銅回路路上に有機皮膜を形成する化学製品。酸化を防止する薬剤「タフエース」や銅と樹脂の密着性を向上させる薬剤「GliCAP」を展開

業績推移



注) 2022年12月期は、決算期変更に伴い2022年4月から2022年12月の9カ月決算となっております。

主な製品



壁材

化学のりを自社製品に展開、独自の内装壁材を開発し、建材事業へ進出
豊富な品揃えであらゆるシーンに対応

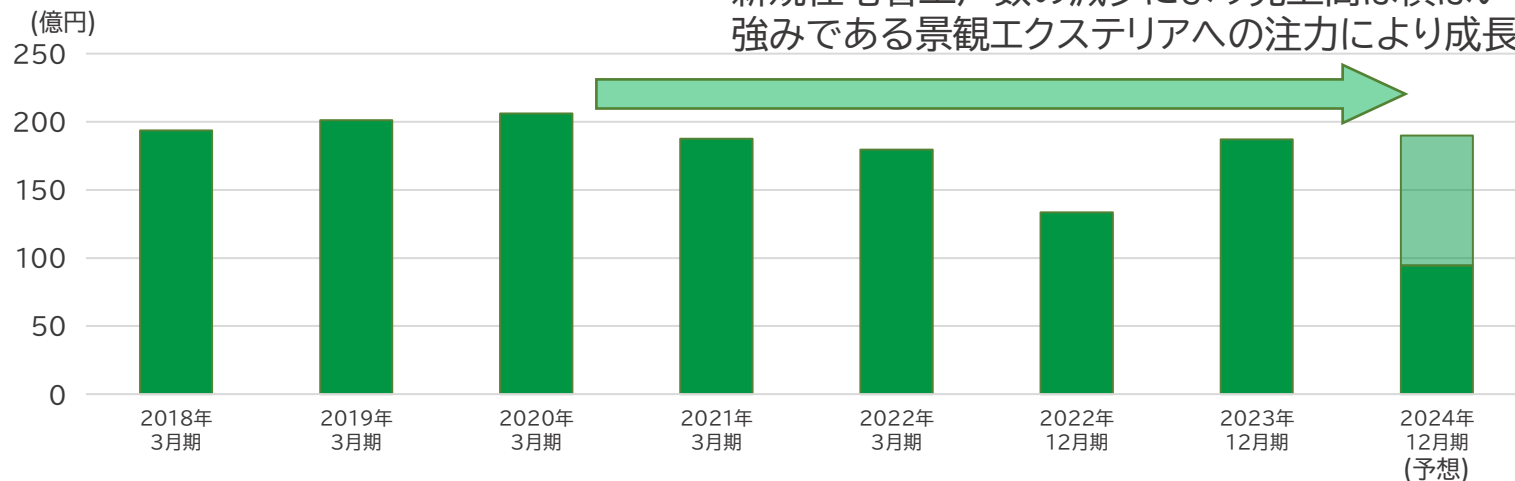
住宅エクステリア

車庫前門扉の代名詞「アコーディオン門扉」を発明
機能性と高いデザイン性を兼ね備えた商品ラインナップを展開

景観エクステリア

柔軟な特注対応力を活かした提案で、国内シェアトップ。次世代太陽光パネルを用いたソーラーカーポート等の新たな領域に取り組む

業績推移



GliCAP

- プリント配線板の銅回路と樹脂の密着性向上剤
- 現在、先端のAIサーバー基板や半導体パッケージ基板領域において、評価・実績化が進む



半導体プロセス材料

- 半導体プロセス材料は、次世代の**高機能膜分野**で候補化合物の評価・採用が進む
- 新プラント「TAP-4」は、**低金属管理**など高い品質管理に対応しており、複雑高度な合成プロセスにも対応している



イエロールームを完備した製造プラント（徳島工場）

ご清聴ありがとうございました